

2022年度

# 事業報告書

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

一般財団法人 全国競輪選手共済会

## 事業概要

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから3年以上が経過し、当初は緊急事態宣言など厳しい感染症予防対策が続いたが、社会経済活動の正常化を目指し、行動制限や入国制限を緩和したことから、国内外の観光客は大幅に増加傾向を示し、低迷していた観光産業もコロナ禍前の水準に戻りつつあり、景気は緩やかに持ち直している。

しかし、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が穀物やエネルギー価格の高騰に拍車を掛け、食料品や電気・ガス料金の値上げなどの形で我々の暮らしに影響を及ぼし、今後の景気回復に向けての足かせとなっている。

競輪界では、コロナ禍におけるお客様の生活スタイルの変化を機に、インターネット投票を中心に車券の売上は好調に推移し、本年度の車券総売上高は対前年度比13.1%増となり、20年ぶりに1兆円を超える結果となった。

本会事業については、関係団体の支援協力により、本年度も適正円滑な事業の執行に努めた。

給付事業は、落車件数及び負傷の程度に大きく左右されるものであるが、本年度の医療給付、休養給付、傷病見舞金給付、その他諸給付については予算の範囲内での支給結果となった。

オリンピック年金事業は、オリンピック競技大会においてメダルを獲得した者にその功績を讃えて退会後に年金を支給するもので、本年度も受給者に対し年金を支給した。

育英金事業は、幼稚園から高等学校または高等専門学校卒業までの受給対象者に対して一時金及び年金を支給し、就学支援と生活の安定を図った。

貸付事業は、貸金業者として貸金業法に則り事業を執行し、競輪選手の福利厚生に努めた。

AED（自動体外式除細動器）事業は、耐用年数の経過時期となった全国の競輪場及び自転車競技場の電極パッドの交換を行い、適切な保守管理に努めた。

なお、日本競輪選手会からの受託業務となっている退職給付及び競輪選手年金に関わる支給事務については、本年度も適正円滑に事務処理を行った。

以上が2022年度の主な事業概要であるが、各事業の詳細については、次のとおりである。

## 1. 給付事業

本会は選手に対する災害補償として、医療給付、休養給付、傷病見舞金給付、障害給付、遺族給付、遺体輸送給付の給付事業を行っている。

2022年度については、7億5,430万円を計上し執行したところ、5億3,302万余円の支出となり、予算の範囲内で執行することができた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2021年度と同様の開催枠組が継続された。実施レース数については前年度比106.2%の27,254レースとなり、前年度に比べ1,605レースの増加となった。また、2021年10月から千葉250競走も開始され、本年度においては1,104レースが実施された。落車状況（JKA調べ）については、落車件数が前年度比112.3%の1,968件発生しており、前年度に比べ216件増加した。落車発生頻度については13.84レースに1件となり、前年度14.63レースに1件に比べ発生頻度は高まっている。

このような状況の中、諸給付の起因となる傷病見舞金給付については前年度に比べ増加となったが、医療給付、休養給付、障害給付については前年度に比べ減少しており、給付事業全体として前年度を下回る結果となった。

なお、各給付の具体的な執行状況は次のとおりである。

### (1) 医療給付

本年度の医療給付実績額については、参加中・参加外合計7,635件1億3,686万余円となり、前年度比97.6%と343万余円の減少となった。

参加中実績額については7,441件1億3,202万余円と、前年度比98.2%と247万余円の減少となり、参加外実績額については194件483万余円と、前年度比83.5%と95万余円の減少となった。

医療給付のうち入院診療〔件数・入院日数・入院診療費〕については、本年度〔1,838件・10,014日・1億1,961万余円〕となり、前年度〔1,803件・10,514日・1億2,169万余円〕に対し、件数は増えているものの、入院日数及び入院診療費が減少しており、平均入院日数も前年度5.8日だったものが、本年度は5.4日に減少している。

外来診療〔件数・通院日数・外来診療費〕については、本年度〔2,767件・9,528日・1,709万余円〕となり、前年度〔2,995件・11,009日・1,737万余円〕に対し、件数、通院日数及び外来診療費ともに減少となっている。平均通院日数も前年度3.7日だったものが、本年

度は3.4日に減少している。

## (2) 休養給付

本年度の休養給付実績額については、参加中・参加外合計1,431件3億1,825万余円となり、前年度比92.6%と2,535万余円の減少となった。

参加中実績額については1,377件3億949万余円となり、前年度比94.2%と1,919万円の減少となった。また、参加外実績額については54件875万余円となり、前年度比58.7%と616万余円の減少となった。

本年度の休養給付については、落車件数1,968件に対して、当該落車事故に対する初回の休養申請数が796件となり、休養給付発生率（休養初回申請数/落車件数）は40.4%であった。本年度の休養給付発生率は、前年度46.3% [休養初回申請数（811件）/落車件数（1,752件）] に比べ減少していることから、落車はしたものの次回競輪を欠場せず復帰している選手の割合が増えていることがうかがえる。

また、休養累計日数については、参加中参加外合計して本年度40,764日と、前年度（44,237日）対比で3,473日減少しており、療養に要する期間も短くなっていることがうかがえる。

## (3) 傷病見舞金給付

本年度の傷病見舞金給付については、傷病見舞金・緊急措置費合計2,515件1,210万余円となり、前年度比111.4%と123万余円の増加となった。

傷病見舞金実績額については1,919件1,138万円となり、前年度比113.9%と139万円の増加となった。給付内容としては、競走中の落車・接触により診断日数30日以内となった者に対し給付される傷病見舞金5千円の給付が1,562件781万円となり、前年度に比べ192件96万円増加した。また、診断日数31日以上に対する傷病見舞金1万円の給付については、357件357万円となり、前年度に比べ43件43万円増加した。

緊急措置費実績額については596件72万余円となり、前年度比82.6%と15万余円の減少となった。給付内容としては、入院雑費として64万余円、家族招致に対する旅費・滞在費として、該当者2名に対し8万余円の支給を行った。

傷病見舞金給付については、レース数及び落車件数の増加に伴い支給額も増加する結果となった。

#### (4) 障害給付

##### ① 障害一時金・障害見舞金

本年度の障害一時金・障害見舞金実績額については、参加中・参加外合計242件6,484万円となり、前年度比86.2%と1,035万円の減少となった。

参加中実績額については233件6,316万円となり、前年度比86.8%と963万円の減少となった。給付内容としては、軽度障害に対する障害見舞金（第14級～12級）に該当する障害が229件5,389万円、中程度障害に対する障害一時金（第11級～6級）に該当する障害が4件927万円であった。

参加外実績額については9件168万円となり、前年度比70.0%と72万円の減少となった。給付内容については、軽度障害に対する障害見舞金（第14級～12級）に該当する障害が9件168万円であった。

障害給付については、参加中・参加外ともに支給件数は増加しているが重度障害（第5級～1級）に該当する者がいなかったため、支給額については減少する結果となった。

##### ② 障害年金

障害年金は、障害給付該当者のうち特に介護を要する身体障害状態にある重度障害者に対し、将来にわたる生活設計の安定を図るため、支給するものである。

本年度は、受給者24名に対し、7,416万円を支給した。

#### (5) 遺族給付

遺族給付は、正会員が競輪選手在籍中に死亡した場合、原因別区分（競走中・訓練中・練習中・それ以外）に基づき、正会員の遺族に対し支給されるものである。本年度については、該当者はなかった。

#### (6) 遺体輸送給付

遺体輸送給付は、正会員が原因別区分（競走中・訓練中）に死亡した場合に、死亡地から居住地までの遺体輸送にかかる費用が給付されるものである。本年度については、該当者はなかった。

(7) 障害特別見舞金

障害特別見舞金は、障害年金施行前に障害となった者で、重度の身体障害が継続している元正会員に対し、その窮状を救うため継続して見舞金を支給するものである。

本年度は、該当者2名に対し96万円を支給した。

2022年度共済事業予算・実績原因別給付額一覧表

付表1

給付	原因別	予算対比		予 算			実 績			増(△) 減		
		件数	金額	件数	金額	1件当たり金額	件数	金額	1件当たり金額	件数	金額	1件当たり金額
医療給付	参加中	9,070	163,230,000	17,997	7,441	132,026,259	17,743	1,629	31,203,741	254		
	参加外	280	6,820,000	24,357	194	4,834,599	24,921	86	1,985,401	△ 563		
	計	9,350	170,050,000	18,187	7,635	136,860,858	17,925	1,715	33,189,142	262		
休養給付	参加中	1,900	418,000,000	220,000	1,377	309,499,000	224,763	523	108,501,000	△ 4,763		
	参加外	120	20,400,000	170,000	54	8,752,000	162,074	66	11,648,000	7,926		
	計	2,020	438,400,000	217,030	1,431	318,251,000	222,398	589	120,149,000	△ 5,368		
傷病見舞金給付	見舞金	参加中	1,930	11,485,000	5,951	1,918	11,370,000	5,928	12	115,000	23	
		参加外				1	10,000					
		小計	1,930	11,485,000	5,951	1,919	11,380,000	5,930	11	105,000	21	
	緊急措置費	参加中	637	1,375,000	2,159	596	729,111	1,223	41	645,889	935	
		参加外				0	0					
		小計	637	1,375,000	2,159	596	729,111	1,223	41	645,889	935	
計	2,567	12,860,000	5,010	2,515	12,109,111	4,815	52	750,889	195			
障害給付	参加中	235	75,120,000	319,660	233	63,160,000	271,073	2	11,960,000	48,587		
	参加外	18	6,410,000	356,111	9	1,680,000	186,667	9	4,730,000	169,444		
	計	253	81,530,000	322,253	242	64,840,000	267,934	11	16,690,000	54,319		
遺族給付	正会員	参加中			0	0						
		参加外	3	50,000,000	16,666,667	0	0		3	50,000,000	16,666,667	
		小計	3	50,000,000	16,666,667	0	0		3	50,000,000	16,666,667	
遺体輸送給付	参加中				0	0						
	参加外	1	500,000	500,000	0	0		1	500,000	500,000		
	計	1	500,000	500,000	0	0		1	500,000	500,000		
障害特別見舞金	参加中	1	480,000	480,000	1	480,000	480,000	0	0	0		
	参加外	1	480,000	480,000	1	480,000	480,000	0	0	0		
	計	2	960,000	480,000	2	960,000	480,000	0	0	0		
合計	参加中	13,773	669,690,000	48,623	11,566	517,264,370	44,723	2,207	152,425,630	3,901		
	参加外	423	84,610,000	200,024	259	15,756,599	60,836	165	68,863,401	139,187		
	計	14,196	754,300,000	53,135	11,825	533,020,969	45,076	2,371	221,279,031	8,059		
障害年金	参加中	17	58,150,000	3,420,588	16	54,020,000	3,376,250	1	4,130,000	44,338		
	参加外	8	20,140,000	2,517,500	8	20,140,000	2,517,500	0	0	0		
	計	25	78,290,000	3,131,600	24	74,160,000	3,090,000	1	4,130,000	41,600		
競輪選手オリンピック年金		2	1,680,000	840,000	2	1,680,000	840,000	0	0	0		
育英金	育英年金	24	7,800,000	325,000	21	6,840,000	325,714	3	960,000	△ 714		
	育英一時金	(4)	600,000	150,000	(2)	300,000	150,000	2	300,000	0		
	計	24	8,400,000	350,000	21	7,140,000	340,000	3	1,260,000	10,000		
総合計		14,247	842,670,000	59,147	11,872	616,000,969	51,887	2,375	226,669,031	7,260		

注 1. 障害年金・競輪選手オリンピック年金・育英金は特別会計である。  
 2. ( )内は件数に算入しない。